

1) 「お」を使うのかいを「を」を使うのかを判断し、切り貼り。  
 2) 先行課題「くつつきの“を”を思い出させるような説明を。  
 ふつうの「お困りしる」に「くつつく」を「等」。  
 3) 文が読みにくい場合は、(絵に注意を向けさせて)読み聞かせる。

a) くつつきの「を」の表記。ユニット4644に「お」と「を」の使い分けを加えたもの。  
 b) 「お」と「を」の使い分けは体験の順序によるなじみが  
 必要だが、「くつつきの“を”」のような概念的弁別を伴う方がよい。

特定用具: 不要

Date:

「お」か、「を」か、  
 つかいわけて  
 はろう。



なになに  
 を

お  
 を  
 お  
 を  
 お  
 を  
 お  
 を



おどり  
 を  
 おどる。



おに  
 た  
 す。



おかあさん  
 を  
 よぶ。



かね  
 と  
 す。



じ  
 ぼえる。



せなか  
 を  
 おす。